

「人が生きる地方創生」を目指して!!



平成28年度予算編成に対する
要望書を提出



公明党京都市会議員団は平成27年12月1日に京都市予算編成にあたり、重点60項目を含む2017年度の要望書を門川大作市長に提出しました。

毎年、起こる豪雨被害の対策を強く求めるとともに、何より「人が幸せ」を実感できるように京都経済の活性化と雇用の創出や市民福祉の向上など「市民生活を守る」との思いで具体的な政策提案を行いました。

重点項目については①人口減少社会に対する京都市としての対策強化。②地震対策にあわせ、毎年多発する水災害対策の強化。③京都経済の活性化と雇用の創出の更なる推進。④福祉の充実と子育て世代に対する更なる支援。⑤学校教育の充実といじめの対策の強化。⑥地球温暖化対策に対する再生可能エネルギーの更なる充実。⑦市バス・地下鉄の更なる増客と利便性の向上。など地方創生の取組みと市民生活の向上に力点を置いています。門川市長は「提案された政策はいずれも重要で私の考えと方向性は一致しています。予算編成に最大限に生かして参ります。」と決意を表明されました。

平成28年度・京都市予算編成に対する要望(要旨)

1 防災危機管理・安心安全

- ・近年多発する大雨洪水被害を踏まえ、地震対策とあわせ水災害対策の強化。
- ・水害に対応した防災行動マニュアル作成の推進。
- ・救急搬送の増加に伴い、救急体制の強化と適正な利用の市民への啓発。



2 行政運営・財政改革

- ・公務員倫理を全職員の共通認識とし不祥事根絶に向けた取組の強化。
- ・地方創生を実現するため京都創生総合戦略に基づいた施策の着実な推進。
- ・公会計制度の導入と京都市財政の見える化と財政のムダ削減の推進。

3 産業・観光

- ・新たな産業戦略ビジョンに伴い、新産業創出と非製造業の活性化と正規雇用率の向上。
- ・京都経済の再生と雇用創出のため、専門性の高い人材の育成の強化・充実。
- ・東京オリンピック・パラリンピックを好機ととらえた京都観光振興策の多角的な推進。

4 環境・エネルギー

- ・地球温暖化対策を実効性あるものとするための「低炭素型まちづくり」の推進。
- ・「しまつのこころ条例」制定と「ごみ半減プラン」の策定を踏まえ、着実なごみ減量の推進。
- ・バイオマスの有効活用を図るなど再生可能エネルギー採用の具体的推進。

5 文化芸術・市民生活

- ・ロームシアター京都を拠点とした文化芸術と都市の魅力を世界に発信するとともに、市民の利活用の促進。
- ・「京都市交通安全基本条例」に基づく、市民や観光客が交通事故に遭わないための安全対策強化。
- ・二つやひきこもり、不登校などの困難に直面している子ども・若者への総合的支援。

6 福祉・子育て・教育

- ・児童虐待対策について各種団体との連携強化を図り、未然防止、早期発見などの具体的施策の推進強化。
- ・認知症対策での早期診断と患者・家族への支援などの取組強化。



- ・経済的理由などで教育の機会が損なわれることが無いようすべての子どもに学習支援体制の充実。
- ・「京都市いじめの防止等に関する条例」に基づき、いじめ根絶に向けた取組強化。
- ・避難所となる学校トイレの洋式化の推進。

7 まちづくり

- ・京都市の特性を踏まえ実効性ある建築物耐震化の取組強化。
- ・大雨被害を踏まえ、河川の浚渫、整備など浸水対策、土砂災害対策の取組強化。
- ・公営住宅の空き家整備を積極的に推進し、公募戸数の確保と単身者戸数の拡大への取組。



8 交通・水道

- ・市バス・地下鉄の増収のための取組と地下鉄経営健全化団体からの早期脱却に向けての取組強化。
- ・市バスのICカード化の導入に伴い、定期割引、乗り継ぎ割引等のICカード化促進策の推進。
- ・市民生活の安心・安全に直結する上下水道の老朽配水管の着実な更新。

お知らせ

2月議会が開会中
(2月24日～3月31日)

本会議代表質問は3月1・2日に行われ、公明党からは、湯浅光彦議員(右京区)、ひおき文章議員(北区)、久保勝信議員(山科区)が3月2日に登壇します。KBS京都テレビでも生中継の予定。ぜひご覧下さい。



よし たかお 吉田孝雄 議員「伏見区」

京都創生総合戦略について

吉田孝雄議員は、急激な人口減少時代を視野に入れた地方創生を市民ぐるみで推進するため、「京都創生総合戦略」に市民の生の声を反映させるべきと論じ、門川市長から市民提案募集を継続するなど、本格的な仕組みづくりを年度内に着手するとの答弁がありました。

子育て支援と住宅政策について

また、子育て支援の充実のため住宅の視点を重視するよう提案し、魅力ある住宅情報の提供や安

自転車安全対策について

心のワンストップ相談窓口の拡充、子どもたちが住まいに関する基礎的な知識を学ぶ機会の検討などを訴えました。市長は子育て世代への具体策を積極的に推進すると確約しました。

そして、自転車の走行環境を本格的に整備するための実証実験の充実と、総合的な自転車政策を議論する審議会の設置を提起。小笠原副市長が迅速に実施すると表明しました。(さつそく11月議会で条例が改正され「京都市自転車政策審議会」が発



自転車走行環境実証実験(イメージ)

吉田孝雄議員のおもな質問項目

- 平和安全法制について(意見表明)
- 京都創生総合戦略について
- 子育て支援と住宅政策について
- 空き家対策について
- 高齢化時代の地域公共交通問題について
- 自転車安全対策について

足するとともに、1月から2月にかけて河原町丸太町交差点付近の幹線道路での実験が行われました。

京都活性化へ!

代表質問

京都市会本会議の代表質問で公明党京都市会議員団は市民生活の向上のため、多角的な政策を提言。平成27年9月議会で吉田孝雄議員(伏見区)、平山よしかず議員(西京区)、青野仁志議員(中京区)が、11月議会では曾我修議員(伏見区)、国本友利議員(左京区)が質問に立ちました。



生活困窮者の自立支援体制について

生活困窮者の自立支援体制について、様々な困窮理由を的確に把握し、きめ細やかな支援体制が必要であるとして、京都市の取組状況に言及。今後の支援員の質の向上や家計相談支援など更なる支援体制の充実を求めました。これに対し門川市長は福祉事務所をはじめ関係機



ひらやま 平山よしかず 議員「西京区」

関と連携を図り、質の高い支援を行っていくと答えました。

若者の定住促進のための住宅政策について

若者の定住促進について、洛西ニュータウンで若者に魅力ある新たな住宅づくりを進めるべきと強く要望。市長は市営住宅で若者世代向けのリノベーションを行うなど、若者の定住促進に向け、関係

ハードウェアベンチャー企業の受入れ環境整備について

あらゆるものがネットで繋がるIOTの流れの中、伝統産業で培われた技術が息づく京都のものづくりが注目されている。この機を逃さず世界のハードウェアベンチャー企業を誘致する環境をつくるべきと主張。



あおの ひとし 青野仁志 議員「中京区」

安心安全な宿泊環境の整備について

ネット活用によるいわゆる民泊サイトなど、宿泊環境が変化する中、市民や観光客にとって、安心安全な宿泊サービス確保のため、京都にふさわしい対策を講じるべきと言及。市長は宿泊サービスの利用状況の実態調査を行い、観光事業者や市民の



京都動物愛護フェスティバルの様子

地域ぐるみでの人と動物の共生のまちづくりについて

NPO法人と地域が協働した、ペットを同行しての防災訓練を紹介の上、こうした「人と動物が共生できるまちづくり」に向けた取組を積極的に支援するべきと主張。副市長は同取組を評価の上、今後も愛護センターや地域での啓発事業など、京都動物愛護憲章に掲げる、人にも動物にも心地よいまちづくりに取り組む意欲を示しました。

機関と協働し取組んでいくと明言しました。

ICカードを活用したサービス向上の取組について

市バスに交通ICカードが導入されたことに触れ、ICカードを利用したサービス向上を積極的



平成26年12月 市バスにICカード導入

平山よしかず議員のおもな質問項目

- 生活困窮者の自立支援体制について
- 児童虐待への対応について
- 若者のチャレンジを応援する仕組みづくりについて
- 若者の定住促進のための住宅政策について
- ICカードを活用したサービス向上の取組について

に図るべきと主張。交通局長はICカードでの乗継割引サービスを平成29年4月から運用開始を目指し、更なるサービスの拡充についても検討するとの見解を示しました。

青野仁志議員のおもな質問項目

- ハードウェアベンチャー企業の受入れ環境整備について
- 安心安全な宿泊環境の整備について
- 歯科保健と子ども医療の充実について
- 水害及び土砂災害対策について
- 地域ぐるみでの人と動物の共生のまちづくりについて



若者世代の定住促進に取組む向島ニュータウン

若者世代の居住促進を図るため、市営住宅のリノベーションの取組みと向島ニュータウン活性化の

住宅マスタープランの見直しによる活性化策について

クレジットカードを利用した納税については、ポイントの付与もあり、市民サービスの向上にもつながるとして、クレジットカード納税の導入を要望。これに対し門川市長は平成28年度からクレジットカード納税を導入し、納税者の利便性向上を図ると明言しました。

クレジットカード納税について



そが 曾我

おさむ 修議員「伏見区」

曾我 修議員のおもな質問項目

- 青少年の薬物乱用防止対策について(要望)
- クレジットカード納税について
- 住宅マスタープランの見直しによる活性化策について
- 今後のパークアンドライドの取組について
- 向島地域の小中一貫校について

取組を求めました。市長は若者世代の定住促進に向けた市営住宅のリノベーションを進め、向島ニュータウン全体の魅力あるまちづくりを推進することを表明しました。

向島地域の小中一貫校について

平成31年開校の向島地域での小中一貫校について、校舎整備だけでなく最先端の教育内容を導入し、全国をリードする教育環境の充実を求めたことに対し、在田教育長は先進的な教育手法の導入を図り、全国のモデルとなる教育を展開していくと答弁しました。



京都市で取組む非行防止教室の様相

近年、青少年の深夜徘徊が多発していることに加え、コンビニなどの深夜

青少年を犯罪から守る取組について

「人の命を守る」という視点に立った実効性ある耐震化を進めるべきと主張。これに対し門川市長は目標達成への決意を述べるとともに、「まちの匠事業」を推進し、京都市の特性を活かした耐震化を進めると答弁しました。

建築物の耐震化促進について

建築物耐震化について目標である耐震化90%の早期達成を求めるとともに、京都市の特性にあわせ



くにもと ともとし 国本友利議員「左京区」

国本友利議員のおもな質問項目

- 証明書のコンビニ交付について
- 建築物の耐震化促進について
- 青少年を犯罪から守る取組について
- 家庭教育支援について

営業事業者と協力し、犯罪から子ども達を守る対策を図るべきと主張。市長は平成28年度から全行政区において犯罪防止等の取組を実施するための推進組織を立ち上げ、犯罪のないまちづくりを推進すると答弁しました。

家庭教育支援について

不登校の未然防止の取組の一環として、家庭教育支援の充実が必要と言及。地域社会から孤立しがちな家庭に対する訪問型の家庭教育支援を進めることを求めました。教育長は学校をはじめとした関係者と連携を強化し、孤立しがちな家庭への更なる支援充実を図ると答弁しました。

精力的に他都市調査を実施!!

平成27年11月16日と17日の2日間、公明党京都市議員団11名は、茨城県つくば市と東京都西東京市を訪れ、先進事例を学びました。ロボット研究の最前線として有名なつくば市では、路上実証実験が進んでいる「モビリティ(搭乗型)ロボット実験特区」の取り組みを、西東京市では多摩六都科学館を視察し、近隣の5市が広域組合を設立して共同運営されている事情を詳しくお聞きしました。



竹内ゆずる厚生労働副大臣に対し要望書を提出!!

平成27年11月16日に公明党京都市議員団として厚生労働省を訪問し、竹内厚生労働副大臣に対して、国の「平成28年予算編成にあたり厚生労働行政に関する要望書」を提出。京都市をはじめ全国の課題でもある生活困窮者自立支援、児童虐待防止対策、子どもの生活学習支援事業に対する国の予算措置を求めました。



京都市聴覚障害者協会の 皆さまと意見交換

平成27年12月18日に京都市聴覚障害者協会の代表の皆さまと意見交換を行いました。協会の皆さまからは「手話言語条例」制定の要望があり、あわせて聴覚障害者の方が抱える悩みや実態などを直接お聞きすることにより、京都市として課題解決に向けた取組が必要であるとの認識で一致しました。



京都市役所前広場に 機械式地下駐輪場がオープン!!

平成27年12月19日に京都市役所前広場に機械式地下駐輪場がオープンしました。最新式の地下駐輪場は2基で合計408台の自転車が収容できます。

公明党市議員団は放置自転車対策としての駐輪場整備に力を入れて参りました。これからも自転車政策をリードするべく頑張参ります。



中京区

青野 仁志
あおの ひとし
①2期 ②経済総務委員会
③会計

左京区

国本 友利
くにもと ともとし
①2期 ②くらし環境委員会
③政調副会長

北区

ひおき 文章
ひおき ふみあき
①7期
②くらし環境委員会

**公明党
京都市議員団
の顔ぶれ**

①期数 ②委員会 ③会派役職

右京区

湯浅 光彦
ゆあさ みつひこ
①4期 ②交通水道消防委員
③代表幹事

南区

大道 義知
だいどう よしとも
①7期
②交通水道消防委員会

下京区

西山 信昌
にしやま のぶまさ
①1期 ②経済総務委員会
③政調事務局長

山科区

久保 勝信
くぼ かつのぶ
①4期 ②教育福祉委員会
③副団長

伏見区

かわしま 優子
かわしま ゆうこ
①1期 ②教育福祉委員会
③政調委員

伏見区

吉田 孝雄
よしだ たかお
①3期 ②まちづくり委員会
③幹事

伏見区

曾我 修
そが おさむ
①4期 ②まちづくり委員会
③団長

西京区

平山 よしかず
ひらやま よしかず
①3期 ②交通水道消防委員
③政調会長

京都いつでもコール
市政情報総合案内コールセンター

市の手続きや制度、イベント、施設に関する問合せにお答えする窓口です。
午前8時～午後9時(年中無休)

●TEL:075(661)3755 ●FAX:075(661)5855

●電子メール(以下のホームページから)

パソコン <http://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000012821.html>
携帯電話 <http://www.city.kyoto.jp/koho/m/cc/>

左記の二次元コードから携帯電話でアクセスできます(一部機種除く)

みなさまの「ご意見」・「ご要望」などを
公明党京都市議員団にお寄せください

●TEL:075(222)3732
●FAX:075(212)3608
●電子メール: komei@lime.ocn.ne.jp
●ホームページ: [公明党京都市会](#)